

これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層充実

学習用端末を活用した授業に取り組んでいます

9月より市内公立小学校4年生から6年生と中学校で学習用端末を使った学習活動が始まっています。また、市内公立小学校1年生から3年生にも年度内に学習用端末を配付予定で、学習環境の整備に取り組んでいます。今号では、実際に市内の公立小・中学校で行われているICTを活用した教育を紹介します。

図 383-9338指導課(授業での活用に関すること)、320-3335教育センター(端末整備に関すること)



操作が難しいと
思っていたけど
すぐに慣れてきました



こんな授業をしています

国語



富貴島小学校



自分の住んでいる地域の防災について資料を作成し、問題点などを討議する授業。自分の考えや資料を共有し、それに対して友だちが意見や感想を返しています。

数学



塩浜学園



一次関数を復習しながら、二次関数を学ぶ授業。子どもたちが先生からの質問の回答や授業のまとめを学習用端末に打ち込むことで、先生は一人ひとりの考えや理解度を確認することができます。

社会



富貴島小学校



鎌倉時代と室町時代の文化を比べる授業。タッチパネル式の大型提示装置を使って気づいた部分に色をつけています。着目した点を一目で確認でき、発表も伝わりやすくなります。

いちかわGIGAスクール構想の推進

ICTを活用した教育

「いちかわGIGAスクール構想」とは

市では国のGIGAスクール構想に基づき、「1人1台端末」と「高速大容量の通信ネットワーク」を整えることで、市の教育理念である「人をつなぐ未来へつなぐ 市川の教育」を推進します。

1人1台端末で授業はこう変わります

よりきめ細やかな支援

一斉授業

授業中でも一人ひとりの反応を把握できるので、子どもたちの反応を踏まえたきめ細やかな教師の指導など、双方向型の一斉授業が可能になります。

わかるまでじっくりと

個別学習

子どもたちがそれぞれ別々の学習ができ、学習履歴が自動で記録されるので、一人ひとりの教育的ニーズ・理解度に応じた学習や指導が可能になります。

考えを深め、学び合う

協働学習

各自の考えを即時に共有し共同編集ができるので、全ての子どもが多様な意見にリアルタイムで触れることができます。



GIGAスクール専用の学習用端末を配付しています。また、有害なサイトにアクセスできないようにすべての学習用端末にセキュリティ制限を行っています。

学習用端末で可能な主な活動

- 学習を補完する自動採点付きのドリルや提出物の回収など授業の支援、子どもたち同士での意見共有など
- 自分に合ったペースでのドリル学習
- ビデオ通話や音声通話などのネットを通じたコミュニケーション

子どもたちの声

授業で端末を使ってみてどうですか



富貴島小学校6年生
根塚さん

学習支援ソフトなどで、プラスアルファの課題ができるので、学習に対するモチベーションが上がりました。



富貴島小学校6年生
石田さん

友達がどんなことを考えているのか、入力されたものを読めばすぐにわかります。また、意見交換もしやすいです。



塩浜学園9年生
藤本さん

学習用端末があることで、学びの幅が広がった上に、気になった点もすぐに調べられて、とても便利です。



塩浜学園9年生
小山さん

授業中に浮かんだ疑問を学習用端末で調べることができ、とても便利です。授業をよりわかりやすく受けることができます。

Interview



塩浜学園 ときた 拓也先生

デジタルとアナログを上手に使い分け、より良い授業を

学習用端末で、子どもたちが今までの授業より意欲的に取り組んでいます。学習用端末を使用し、一人ひとりの意見が画面上に表示されることで、自分とは異なる意見にも簡単に触れることができます。今まで発表が苦手だった生徒でも意見を表明でき、しかも全体で共有できることはとても良いと思います。学習用端末での学習は個別学習のイメージもありますが、みんなで協働して学習するツールとして活用が進むことを期待しています。一方で、従来の黒板とノートでの指導の重要性も実感しています。デジタルとアナログを上手に使い分けてさらに効果的な授業ができるよう取り組んでいます。